

# 議会だより

No.173

## 3月定例会

■発行／八千代町議会

■編集／議会だより編集委員会

### 副町長に古宇田信一氏を選任、平成31年度一般会計予算を可決

平成31年第1回定例会は、3月5日から15日までの11日間の日程で開催されました。この定例会では、町執行部より平成31年度当初予算をはじめ、条例改正や副町長の選任同意など23議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は、3月12日と14日に行われ、10人の議員が登壇し、町の方針をただしました。

#### 可決した議案内容

##### ● 条例

◇町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院規則が改正されたことに伴い、時間外勤務に関する必要事項について、町規則へ委任する規定を加えるものです。

規則で定める内容は、長時間労働の是正のため、超過勤務命令の上限時間を設定するものです。

◇医療福祉費支給に関する条例の一部改正

医療福祉費支給制度（マル福）において、精神障害者保健福祉手帳1級所持者を対象として加えるものです。

◇出産子育て奨励金支給条例の一部改正

出産子育て奨励金の対象者を、第3子以上の児童を出産した方から第2子以上の児童を出産した方に拡充するものです。

◇土砂等による土地の埋立、盛土及びたい積の規制に関する条例の全部改正

改良土の禁止、事業着手後の土壌調査・報告の義務化、施工管理者の設置義務化、罰則の強化など、行政の主導権限等を拡充するものです。

##### ● 選挙

◇茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員

平成31年1月15日付けで前任の水垣正弘議員が失職したことに伴い、選挙を行いました。指名推選により大久保武議員が選出されました。

◇茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

広域連合議会議員の任期が平成31年3月18日で満了となることに伴い、一般選挙を行いました。投票の結果、上野政男議長が選出されました。

##### ● その他

◇町道路線の廃止

県営畑総（中結城地区）に伴い、成田・佐野地内の2路線を廃止するものです。

◇町道路線の認定

県営畑総（中結城地区）と中央土地区画整理事業に伴い、成田・佐野・菅谷地内の

##### ● 人事

10路線を認定するものです。

◇副町長の選任同意

副町長に古宇田信一さん（つくば市在住）を選任することに同意しました。

### ◇平成31年度 当初予算◇

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減率
一般会計	78億9千200万円	75億7千900万円	4.1%
国民健康保険	30億3千454万7千円	30億4千189万円	△0.2%
後期高齢者医療	2億1千90万5千円	1億9千481万1千円	8.3%
介護（保険事業）	17億4千461万4千円	16億6千526万2千円	4.8%
介護（介護サービス）	450万9千円	404万1千円	11.6%
区画整理	1億4千581万3千円	1億3千210万7千円	10.4%
農業集落排水	2億9千337万2千円	3億5千370万7千円	△17.1%
下水道	4億9千105万2千円	4億1千758万2千円	17.6%

#### 水道事業会計

##### 3条予算（収益的収入及び支出）

- ・収入 5億1千449万3千円（前年度4億7千87万円）対前年度9.3%増
- ・支出 4億362万4千円（前年度3億5千920万5千円）対前年度12.4%増

##### 4条予算（資本的収入及び支出）

- ・収入 0円（前年度0円）
- ・支出 5千355万7千円（前年度9千672万円）対前年度44.6%減

※不足額5千355万7千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補填



水道事業会計	
<b>3条予算（収益的収入及び支出）</b>	
・収入：1千892万8千円を増額し、収入合計を4億8千979万8千円とするもの	
・支出：80万9千円を増額し、支出合計を3億6千1万4千円とするもの	
<b>4条予算（資本的収入及び支出）</b>	
・支出：1千441万8千円を減額し、支出合計を8千230万2千円とするもの	

会計区分	3月補正額	補正後総額
一般会計	9千420万5千円	85億5千631万2千円
国民健康保険	9千652万5千円	32億5千763万8千円
後期高齢者医療	612万6千円	2億321万7千円
介護（保険事業）	5千5万1千円	17億8千762万6千円
介護（介護サービス）	65万8千円	469万9千円
区画整理	△121万8千円	1億3千294万8千円
農業集落排水	△1千871万円	3億3千629万1千円
下水道	△1千124万円	4億674万8千円

## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

町民のみなさんの意見や要望などを議会に提出することができます。  
随時受け付けを行っています。

○請願

紹介議員が必要です。その内容に該当する常任委員会で審議します。

○陳情

議員の紹介は不要です。

※その他、詳しくは議会公式ホームページをご覧ください。



## 第1回定例会における議案等の審議結果

審議内容	議席	1	3	4	5	7	8	9	11	12	13	14	議長
	審議結果	増田光利	大里岳史	廣瀬賢一	大久保弘子	中山勝三	生井和巳	大久保武	小島由久	宮本直志	大久保敏夫	湯本直	上野政男
平成30年度八千代町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
平成30年度八千代町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—
平成31年度八千代町一般会計予算	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—
平成31年度八千代町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—
平成31年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成31年度八千代町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—
副町長の選任につき同意を求めることについて	可決	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	—

○・・・賛成    ×・・・反対

※今定例会で審議された議案等のうち、意見が分かれた案件のみ、上記の一覧表に掲載しています。なお、記載のない議案等については、「全会一致（全員が賛成）で可決または承認」しています。審議の詳細内容は、議会のホームページの会議録（5月下旬頃掲載予定）をご覧ください。

## 生産体制強化支援事業の進捗状況について



大久保 敏夫 議員

平成30年度予算において、常総ひかり農業協同組合が実施する集出荷施設の建設事業への補助として、生産体制強化支援事業等により3億2千万円の予算を本議会では議決しました。昨年6月の補正予算が組まれるまでの経緯と、工事の現在の進捗状況を伺います。

産業建設部長 本事業については、昨年2月に常総ひかり農業協同組合から町へ事業計画の承認申請が提出され、その後、4月に国から県へ事業計画を承認することで連絡があり、同じく4月に県から町にもその連絡がありました。それを受け、昨年6月の定例会で補正予算案を提出し、議

決をいただきました。

工事の進捗状況につきましては、昨年9月に機械設備分の契約が締結されましたが、施設本体の契約については、2月に行われた入札が不調となったため、第2回目の入札が今後予定されているところであり、現在、工事は未着工の状態です。

町長 集出荷施設が整備されることにより農業の生産安定を図ることができ、町全体の農業活性化に資すると判断し、補助を決定しました。

今年1月に行われた町長選挙において、町長は最多票を獲得し当選しました。今回の選挙の流れの中で、町長の後援会が多くの行政区で設立された10万円で酒を飲みながら「これから頑張っていこう」と話していた、また、町長は挨拶に来たこともあるといううわさを聞きました。そのよ

## 学校給食の調理・配送業務の民間企業のノウハウ活用について



大久保 弘子 議員

町長は、町政運営方針の中で、学校給食の調理・配送業務への民間企業のノウハウ活用を「検討する」と述べられました。ところが、今定例会で審議中の新年度予算案には、平成31年度から平成33年度にかけ合計1億7千500万円

うなことがあったのか、お伺いします。

町長 区長をやっている方と行政区の内容とは別件でお邪魔したことはありません。道路が崩れてしまっているところを見てほしいなど、声をかけられることがあります。で、そういう場合にお邪魔したことがあります。また、いろいろある団体にお邪魔したことはあります。

の調理・配送業務委託が盛り込まれています。議会に事前報告もなく、なぜ民間委託を選択したのでしょうか。

教育次長 9月から新たな給食センターが供用開始される予定で、これを機に調理・配送業務の民間業者への業務委託を考えています。

しかしながら、民営化ということではなく、給食センター職員である管理栄養士などが献立の作成、食材の選定・購入、調理の指示、調理物の検査及び給食指導等を行い、食の安全・安心を確保した上で調理・配送作業のみを民間業者に委託するものです。

町長 給食センターを安全かつ効率的に運営するには、民間企業に委託することで、専門的知識や経験により蓄積された技術を活用し、町職員である管理栄養士の指導のもとで給食を提供することが最善であると考えています。

私は福島第一原発の事故以来、原発に関する質問を取り上げ、その危険性を訴えてきました。

大久保前町長は、東海第二原発に対して再稼働反対の意向を表明していましたが、谷中新町長はどのような考えなのか、見解をお聞きます。

町長 国や県、近隣市町の動向を見据えつつも、安全性の確保と実効性のある避難計画の策定、そして県民の理解が深まらない限り、再稼働反対の意向を示したいと考えています。

その他の質問  
・新町長の町政にあたっての運営方針について



今年9月稼働予定の給食センター（イメージ図）

## 八千代町行政運営について



小島 由久 議員

先の町長選挙において、町長は「いつまでも住みつけたいまち」を公約に掲げ当選されました。町長に就任された以上、町の将来を守るため、新しい行政改革、行政運営をしていかなければなりません。新町長の手腕に町民の方も期待していることと思います。

しかし、これからの行政運営を行うためには、財源の確保が肝要です。厳しい財政状況の中、どのようにして財源を確保していくのか、また、行政運営をどのように進めていくのか、町長の見解を伺います。

町長 定例会初日の所信表明で述べた約束を行政運営の視野におき、町民の皆様との信頼関係を更に深めるとも

に、常に職員の方の先頭に立って、ともに汗をかきながら、私の夢である「いつまでも住みつけたいまち 八千代」の実現に向けて、議員各位をはじめ、町民の皆様方とともにオール八千代の体制で誠心誠意取り組んでまいります。

また、財源の確保は、喫緊の最重要課題です。収入の根幹をなす町税については、適正課税、期限内納付を目標に、財源の確保を目指してまいります。

さらに新たな財源確保を図っていくため、現在、八千代工業団地東地区については、2社の工場立地が決定しています。残る西地区についても、私が企業誘致活動の先頭に立ち、一日も早い企業の立地が実現できるよう努力してまいります。企業誘致による税収の確保は、安定的な財源の確保です。八千代工業団地への企業誘致を最優先し、新たな工業系土地利用の可能性などを模索しながら、計画的なまちづくりを進めていきます。

## 小・中学校の課題について



大里 岳史 議員

町内小学校については空調設備の設置が完了しています。が、中学校は未整備であり、近年の傾向からも猛暑が予想されます。今が夏に向けての

その他の質問  
・町長の公約について



八千代工業団地への企業誘致を優先

猛暑対策準備期間だと思いますが、整備時期について伺います。

また、部活動において、子ども達が少ないためか、八千代一中にあり、東中になく部活があります。入りたい部活がないため、希望と違う部活に入部したり、東中の生徒が八千代一中の部活に通ったりする状況です。そこで、一中と東中を統合してどうかと考えますが見解を伺います。また、試合等の遠征時には、部費から費用を捻出し、バス会社に送迎を依頼しているようですが、町バスを利用し、保護者の負担を軽減してはどうでしょうか。

教育長 中学校へのエアコン設置については、工事完了を本年6月末日に予定しています。

部活動については、今後、一部の部活動において、大会等への参加を見据えた上で、2つの中学校の合同部活動チームが可能になるような改善する方向で、話し合いを進

めているところです。また、部活動の大会等において、会場までの移動に町のバスを使用できない場合には、民間バスを使用することになり、保護者の方には負担をかけていますが、今後の教育課題の一つと考えています。

町長 少子化対策として子育て支援の充実を図っていくとともに、子どもたちが心身ともにたくましく育ち、学ぶことができるように、安全・安心で快適な教育環境の充実に努めていきます。そして、将来を担う子どもたちのために、スピード感をもって教育向上につなげていきたいと考えています。



猛暑になる前に暑さ対策を

## 八千代町の未来を創るアイデア コンテスト2018について



生井 和巳 議員

生活の中の手助けを、自分たちができるボランティア活動を行うというところで、青少年の健全育成や町の高齢者対策において、双方に大変有意義であると思われまます。今回の提案を今後のボランティア育成及び活動の参考にしたいと考えています。

産業建設部長 今回、ご提案いただいた若い人たちならでの視点や柔軟な発想は、町も推進しております6次産業化について、貴重な意見があり、大変参考になると考えています。

今回提案いただいたものを参考に、町の特産品や地域資源を活用した加工品や特産品の開発に取り組みとともに、憩遊館においても、新たなフードメニューの作成や新たなお客様の確保、リピーターの増加につながるような効果的なイベントの開催を検討していきたいと考えています。

町長 高齢者宅訪問の企画については、今後、商工会と

保健福祉部長 八千代高校の生徒からの高齢者宅訪問についての提案は、高校生の立場から高齢者が必要とする日常

先日、町商工会が主催となり、八千代町の未来を創るアイデアコンテスト2018が開催されました。奨励賞を受賞した八千代高校生の企画は、八千代高校生が高齢者宅を訪問し、電化製品を安全に使用するための点検などを行うもので、青少年育成と高齢者対策を一度に進める企画でした。また、その他にも、町の特産品を活用したフードメニューの作成や加工・販売等の6次産業化への企画もありました。

## 工業用水の使用について



増田 光利 議員

西山工業団地で使用する工業用水は、団地内で掘削した井戸から充当していると聞いたが、使用量に不足はないのか、使用状況をお聞きします。

情報交換をしながら、アイデアを具現化するための検討をしていきたいと考えています。

その他の質問  
・出産子育て奨励金について



様々な意見の発表がありました

また、工業用水の安定供給は、今後の企業誘致を図る意味で重要です。しかし、当町は県工業用水事業における取水権を有しておらず、町浄水場からの給水で対応することになります。今後、八千代工業団地に企業を誘致した場合は、工業用水は確保できるのか伺います。

産業建設部長 現在、西山工業団地浄水場から、2社に工業用水を給水しており、1日当たり平均使用量は、平成30年度2月末時点で413立方メートルとなっています。これは県より許可されている1日当たりの地下水採取量695立方メートルの範囲内であり、工業用水の供給量は不足していません。

また、当水道事業の過去3年間の1日当たり平均配水量は4千430立方メートルで、1日最大配水量5千100立方メートルの87%程度です。よって、誘致した企業が水道水を使用して、使用量には影響はないも

のと考えています。

昨年の12月の臨時国会で、上水道民間化の導入を促進する改正水道法が成立しました。これは一度民間化した水道事業を再び公営化に戻す世界の潮流と逆行する法案です。当町の場合、直ちに民間化を導入する状況ではないと思いますが、将来の見通しを伺います。

町長 水道事業については、継続的な利益を計上でき、当面の間は町で運営していきますが、調査・検討についても進めていきたいと考えています。

その他の質問  
・介護予防について  
・鬼怒川緊急対策プロジェクトの整備状況について



工場の稼働に水は不可欠

## 児童虐待について



廣瀬 賢一 議員

もとより、警察、児童相談所等の関係機関と連携しながら、月一度の要保護児童対策地域協議会を実施し、虐待を含む要保護児童等の早期発見、早期対応ができる取り組みをしています。

総合表彰式における功労者の表彰について、建設業者の基準はどのようなものか、また、議会議員や常勤の特別職、一般職の表彰基準はどのようになっているのかお伺いいたします。

昨年3月に東京都目黒区で発生した児童虐待事件を受け、厚生労働省は市町村子ども家庭支援指針を改正しました。これを踏まえ、当町においても、児童家庭相談を責任をもって受け止められるよう、組織、人材などの必要な体制を構築すべきです。そこで、当町の児童虐待の現状や対応についてお聞きします。

**教育長** 学校においては、児童虐待の防止を図るため、児童虐待の防止等に関する法律に基づいて、早期発見の努力義務や関係機関への通告義務の責務が定められ、町内全学校においても周知し、取り組んでいるところです。

現在、町として児童相談所にかかる虐待はありませんが、町教育委員会や福祉課は

## 一級町道15号線道路改良について



大久保 武 議員

できない状況です。しかしながら、この路線が整備されれば、坂東市、埼玉県・東京都方面及び圏央道への広域的な連絡道が確立され、当町の産業発展に大きく寄与するものと考えております。

そこで、橋梁新設を伴う一級町道15号線道路改良事業の整備計画を伺います。

一級町道15号線は、幅員が狭く、通行車両のすれ違いに支障をきたしており、また、東に連川に架かるいずれの橋梁もバス等の大型車両は通行

をPRすることにもつながり、人材不足に悩む業界に対して、イメージアップ又は従業員の満足度や意欲の向上、優秀な人材の確保など、業界の成長及び発展に結びつくものと考えています。



児童のために早期のケアを

**企画財政部長** 建設業者については、年間の請負合計額や一件の請負額等を参考に功績顕著な者を推薦しています。

**総務部長** 議会議員・常勤の特別職は12年、一般職の職員は20年以上の功績や勤務実績が表彰の基準となっています。

**町長** 建設業者を表彰することについては、表彰を通じて幅広く事業の目的、効果等

発的に発生している状況で、施設の維持管理は地元の大きな負担となっています。

農業を基幹産業と位置付ける行政の立場として、どのような支援体制をとれるのか、お聞きします。

**産業建設部長** 各土地改良区や維持管理組合等が実施する既存施設の補修を含む土地改良事業に対し、補助金の交付を実施しています。

本補助金交付要項の概要としまして、県単独補助事業や適正化事業、特認事業等に分かれており、実施設計費を除く総事業費の10%から22.5%の範囲内で補助金を交付するものです。



## 市民後見人の養成推進を



宮本 直志 議員

昨年的一般質問において、市民後見人の養成を要望したところ、平成31年度予算に市民後見人養成研修受講費補助金が計上されました。

一人暮らし高齢者や認知症高齢者等の増加に伴い、市民後見人の必要性は一層高まってきております。当町では、どのように養成していく考えなのか、お尋ねいたします。

**保健福祉部長** 市民後見人の本町単独での育成は困難であると考えていますので、近隣市町村と連携をとり、合同で市民後見人養成研修会を開催できないか検討していきたいと思っています。まずはNPO法人など適切に業務運営を行っている団体等の研修会の参加者に対し、研修費の助成を考えています。

## 国民健康保険特別会計の保険料率をより適正に



中山 勝三 議員

グローバル化が進む中、児童・生徒の英語力向上は重要であり、教育の質を充実させる取り組みが必要です。そこで、全校に英語を母国語とするALT（外国語指導助手）を1名ずつ配置できないか、お聞きします。

**教育次長** これまでは、ALT3人を配置し、小学校では、外国語活動を年間1千60時間程度実施してきました。来年度は500時間増加し、必要時間が1千560時間となります。ALTを1名増員することにより、4名で町内の小・中学校の外国語の授業を効率的、効果的に実施する考えです。

**教育長** 学力向上は学校の最優先課題だと捉えています。その中で、英語教育に関しては、大きな課題の一つと考えていますので、特に力を入れて、ALTを活用しながら、国際社会に生きる子どもたちの英語力の育成を図っていききたいと思っています。

平成30年度より、国保の運営主体が県に移行されたことに伴い、各市町村は国保事業納付金を県に納めることになりました。それを受け、当町では昨年度に国保税率の改定を行ったわけです。

先日、県が公表した資料によりますと、当町の平成30年度一人当たりの保険料税額が13万7千872円で、県内で一番になっている中、平成29年度の一人当たりの療養諸費は、26万9千808円で、県内で2番目に低いと、療養諸費の支出と保険料税額との対比で順番が逆転している状況です。

税率を決定する要因は様々であり、直ちに引き下げが必要だとは申しませんが、今の税率が適切なのか、精査する必要があるのではないのでしょうか。

**保健福祉部長** 県から示された平成31年度の仮算定による納付金は約10億3千万円で、納付金を納めるために必要な平成31年度当初予算における国保税収は約8億7千万円です。不足分は一般会計からの繰入金により賄っている状況です。従いまして、今後は、一般会計からの繰入金に頼らないよう、繰越金が発生した際は、基金積立を行い、独立採算制を堅持しつつ、必要最小限の税率改正にとどめられるよう運営していきたいと考えています。



**町長** 国民健康保険特別会計は、独立採算制を原則としていることから、一般会計繰出金に頼らない足腰の強い財政基盤を作ることが肝要と考えています。

健康寿命の延伸を図るためにも、現在取り組んでいる保健事業を活用し、更なる医療費の減少を目指していきたいと考えています。これにより、医療費や国保事業納付金が抑制されることが期待され、本町の国保財政の健全化を図ることが可能になると思われま

す。

**その他の質問**

- ・町民に身近で開かれた行政について
- ・通年議会の認識について
- ・改修後の鬼怒川堤防をサイクリングロードとして活用することについて



## ◇ 研修視察報告 ◇

去る、1月30日に実施した議員研修についてご報告いたします。

まず、筑西市の国土交通省 下館河川事務所において、「平成27年9月関東・東北豪雨」、「鬼怒川緊急対策プロジェクト」について説明を受け、その後、常総市に移動し、上三坂地区における鬼怒川堤防復旧箇所と本石下地区における築堤工事現場を視察いたしました。

皆さまご承知のとおり、関東・東北豪雨による被害は、常総市の鬼怒川堤防決壊をはじめ、各地で溢水、漏水等が多数生じるなど、甚大なものとなりました。

現在、大きな被害が発生した鬼怒川下流域においては、国、県、並びに当町を含む7市町が主体となり、「水防災意識社会」の再構築を目指した、鬼怒川緊急対策プロジェクトが進められております。

河川事務所職員の方の説明では、ハード対策として、約600億円の事業費を投入し、堤防のかさ上げ、拡幅などの河川整備。ソフト面では、避難勧告の発令に着目したタイムラインを作成したほか、災害時の河川状況等を河川事務所長から首長へ直接電話で伝えるホットラインの訓練を実施していると述べられておりました。

また、工事現場の視察では、熟練オペレーター熟练操作を機械が自動的に再現するICT建機を導入しており、効率よく早期に工事完了させるべく工夫されておりました。当町の堤防整備工事については、平成32年度の完成を予定しており、この工事が完了すれば治水安全度が飛躍的に向上し、当町の防災・減災に大きく寄与するものと確信いたしました。

次に、つくば市の国立研究開発法人 産業技術総合研究所内の地質標本館を視察いたしました。

地質標本館では、最新の地球科学情報とともに日本の地質、地下資源、海洋の地質、地球環境、火山と地熱、地震と活断層などのテーマごとにまとめて展示してありました。

結びに、研修に参加いただきました町執行部の皆様をはじめ、時間を割いて研修にご協力いただきました関係者の皆様に対し、お礼を申し上げ、議会議員研修の報告とさせていただきます。



地質標本館にて



下館河川事務所にて

議会を傍聴しませんか？

より多くの町民の皆さんに、議会を身近に感じていただくために、議会傍聴や施設見学を受け付けております。各種団体や学校の社会科見学などにお取り入れください。次の定例会は6月に行います。詳しい日程は5月下旬に議会ホームページ等でお知らせいたします。



傍聴席から見た議場の様子

【問い合わせ】

議会事務局

TEL (48) 11111

内線 4110